

南阿蘇村 復興むらづくり だより



復興推進課

TEL (67) 1113

■国、県、東海大学が「阿蘇地域の創造的復興に向けた協定」を締結

環境省、県、東海大学は、1月17日、「阿蘇地域の創造的復興に向けた地域循環共生圏の構築に関する協定」を締結しました。環境省で行われた署名式には、吉良村長が立会人として同席。協定書に署名されました。

この協定は、阿蘇の自然資源と東海大学の研究を活かして阿蘇地域の産業活性化および地域活性化につなげていくものであり、①三者が阿蘇地域の創造的復興に向けた調査・研究などを実施していくため、地域のさまざまな関係者と連携して取り組むこと、②東海大学は31年度末をめぐに「森里川海研究所」を設立し、他の大学などとも連携して、研究活動に取り組むこと、③県は、「南阿蘇村黒川地区創造的復興プロジェクト」を村と連携して推進・支援すること、④環境省は、東海大学の被災施設について、自然の脅威を来訪者へ伝えられるよう、県が行う園地整備を環境省が支援することなどが盛り込まれました。

今後、この協定に基づき黒川地区を中心にさまざま

まな取り組みが期待されますが、村としても積極的に関与し、村全体の復興につなげていきたいと考えています。



環境省で行われた協定署名式

■立野地域復興むらづくり協議会主催の「復興どんどこ」が開催されました

1月14日、旧立野小学校グラウンドで、立野地域（立野区・新所区・立野駅区）の「復興どんどこ」が開催され、約200人の参加者で賑わいました。このどんどこは、熊本地震後に設立された「立野地域復興むらづくり協議会」の中で、地域の復興のため

めに地域の皆さんが集まる機会を設けたいとの思いから協議会主催で行われました。

当日は、グラウンド中央に組まれたやぐらに正午頃点火され、消防団や婦人会、人吉ライオンズクラブによるバーベキューやぜんざい、豚汁の振る舞いがありました。

立野地域は熊本地震の被害により、平成29年10月31日まで長期避難世帯に認定され、今なお多くの皆さんが地域外への避難を余儀なくされています。今後は村内の各地区で、今回のようなイベントが定期的に開催され、活気ある集落づくりが進むことが期待されます。



旧立野小学校グラウンドで行われた「復興どんどこ」